

平成27年度

「運営に関する計画」

中間評価

大阪市立淀川中学校

平成27年10月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

平成25年度「全国学力・学習状況調査」において、平均正答率は大阪市平均と比べ、国語ではほぼ同等、数学で5ポイント程度上回った。しかし国語では「書くこと」の領域が弱く、自分の考えや意見をまとめ効果的に伝える力をつける必要がある。数学では「資料の活用」の領域が弱く、目的に応じて資料の読み取り、整理により問題解決できる力をつける必要がある。

また、質問紙調査において、朝食を食べていない生徒が大阪市平均より4ポイント以上も低く84%であった。基本的な生活習慣、家庭学習習慣を改善する必要がある。

中期目標**【視点 学力の向上】**

- 「全国学力・学習状況調査」の平均正答率を大阪市平均より、国語で2、数学で6ポイント以上上回る結果とする。(カリキュラム改革関連)
- 「全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している(どちらかといえばしている)」と答える生徒の割合を全学年で前年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 「分かる授業、興味を持って取り組める授業」にするため、ICTを積極的に活用する。特に平成27年度「全国学力・学習状況調査」の理科において平均正答率を、大阪市平均より2ポイント以上上回るようにするために実験・観察の授業で最新のICTを駆使する。そして本校アンケート調査で、「日々の授業に積極的に取り組んでいますか」の項目について、「積極的である(ほぼ積極的である)」と回答する生徒の評価を70%以上にする。(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上維持し続ける。(カリキュラム改革関連)
- キャリア教育の充実により、勤労の尊さを実感させるとともに、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。校内アンケートにおいて「勤労の尊さを実感した(どちらかといえば実感した)」という生徒の評価を90%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 本校アンケート調査で、「5分前の予鈴登校や、あいさつ運動に取り組んでいることは、これからのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ(少しは役立つ)」と回答する生徒の評価を90%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 生徒のようすを土曜授業や学校HP、学校行事・地域行事等によって家庭・地域に発信し、外からの意見を教育の改善に活かす。「校長室だより」も毎月学校HPに掲載する。(ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の維持増進】

- 「全国学力・学習状況調査」における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない(あまり食べていない)」と答える生徒の割合を10%以下にする。

- 本校アンケート調査で、「生命尊重や男女平等の意識について性教育を学んでいます。こうした学習はこれからのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を85%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における合計得点を全学年で向上させる。（カリキュラム改革関連）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」の平均正答率を大阪市平均より、国語で1、数学で5ポイント以上上回る結果とする。（カリキュラム改革関連）
- 「全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を全学年で前年度より向上させる。（カリキュラム改革関連）
- 「分かる授業、興味を持って取り組める授業」にするため、ICTを積極的に活用する。特に平成27年度「全国学力・学習状況調査」の理科において平均正答率を、大阪市平均より2ポイント以上上回るようにするために実験・観察の授業で最新のICTを駆使する。そして本校アンケート調査で、「日々の授業に積極的に取り組んでいますか」の項目について、「積極的である（ほぼ積極的である）」と回答する生徒の評価を70%以上にする。（カリキュラム改革関連）

【視点 道徳心・社会性の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- キャリア教育の充実により、勤労の尊さを実感させるとともに、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。校内アンケートにおいて「勤労の尊さを実感した（どちらかといえば実感した）」という生徒の評価を85%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 本校アンケート調査で、「5分前の予鈴登校や、あいさつ運動に取り組んでいることは、これからのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を90%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 生徒のようすを土曜授業や学校HP、学校行事・地域行事等によって家庭・地域に発信し、外からの意見を教育の改善に活かす。「校長室だより」も毎月学校HPに掲載する。（ガバナンス改革関連）

【視点 健康・体力の維持増進】

- 「全国学力・学習状況調査」における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答える生徒の割合を10%以下にする。（カリキュラム改革関連）
- 本校アンケート調査で、「生命尊重や男女平等の意識について性教育を学んでいます。こうした学習はこれからのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を85%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における合計得点を全学年で向上させる。

大阪市立淀川中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」の平均正答率を大阪市平均より、国語で1、数学で5ポイント以上上回る結果とする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している(どちらかといえばしている)」と答える生徒の割合を全学年で前年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○「分かる授業、興味を持って取り組める授業」にするため、ICTを積極的に活用する。特に平成27年度「全国学力・学習状況調査」の理科において平均正答率を、大阪市平均より2ポイント以上上回るようにするために実験・観察の授業で最新のICTを駆使する。そして本校アンケート調査で、「日々の授業に積極的に取り組んでいますか」の項目について、「積極的である(ほぼ積極的である)」と回答する生徒の評価を70%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【各教科(特に国語・数学・理科・英語)の指導法の改善】</p> <p>基礎基本の徹底、理科を中心とした興味・関心を高めるためのICTを活用した授業の推進。習熟度別授業の充実、小学校の英語指導の改革を受けての英語授業の改善。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 ICTについては理科において書画カメラや実験観察用計測・処理システムを駆使した授業を推進する。英語については小中連携を通じて小学校の状況を把握し、音声指導を中心に授業を工夫する。</p>	B
<p>取組内容②【自主学習習慣の確立】</p> <p>主体的な学習習慣が身につくような小テスト・レポート・宿題を実施する。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 小テストの実施やレポートのきめ細かな点検と指導。学年だより等による家庭教育の啓発</p>	B
<p>取組内容③【授業研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>○J T授業を効果的に活用した研究授業を充実させ、またこれに加え、土曜授業における参観授業の指導案作成の推進。 (学校サポート改革関連、ガバナンス改革関連)</p> <p>指標 年間12回以上の研究授業の実施、すべての学期で複数の研究授業を行う。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ・「全国学力・学習状況調査」の平均正答率については、大阪市の平均を上回ることができなかった。
- ・「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目では、昨年度「している」が9.7%、「どちらかといえばしている」が22.6%に対して、今年度はそれぞれ11.9%、20.6%とわずかながらではあるが増加している。
- ・今年度もICTを活用した授業を、理科を軸に各教科で前進させている。

次年度への改善点

予定している取り組みは順調に進めている。さらにわかる授業、興味関心を引き出す指導を心掛けて工夫をする。

大阪市立淀川中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の向上】</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○キャリア教育の充実により、勤労の尊さを実感させるとともに、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○本校アンケート調査で、「5分前の予鈴登校や、あいさつ運動に取り組んでいることは、これからのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ(少しは役立つ)」と回答する生徒の評価を90%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○生徒のようすを土曜授業や学校HP、学校行事・地域行事等によって家庭・地域に発信し、外からの意見を教育の改善に活かす。「校長室だより」も毎月学校HPに掲載する。(ガバナンス改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【道徳教育のさらなる推進】</p> <p>体験的な学習も含め道徳教育を推進するとともに、すべての教育活動を通して規範意識を高める。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 全国学習状況調査の質問紙の「学校のきまりを守っていますか」の回答において、守っている(ほぼ守っている)の割合を90%以上にする。</p>	B
<p>取組内容②【安全教育の推進】</p> <p>予鈴前登校や挨拶運動の推進。毎日、多数の教員による登校指導の実施と安全点検。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 全国学習状況調査やアンケートでの評価を前年度以上にする。</p>	B
<p>取組内容③【キャリア教育の推進】</p> <p>職業講話等を実施し、勤労の尊さを実感させ、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 全国学習状況調査の関連項目での割合を前年度以上にする。</p>	B
<p>取組内容④【その他、開かれた学校をめざして生徒のようすの地域へ発信する】</p> <p>開かれた学校をめざした土曜授業・学校HP・学校行事、そして地域行事への関わりを深める。吹奏楽部の活動を地域行事等で充実させる。(ガバナンス改革関連)</p> <p>指標 「校長室だより」を毎月学校HPに掲載し、常に地域からの声を聞く。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ・「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目については92.8%と目標値に達している。
- ・地域巡視、「健全育成を進める会」など順調に地域と連携し取組むことができている。参加教員数、協議の深まりの観点からも充実してきている。
- ・学校ホームページの更新を増やすことができている。

次年度への改善点

職業講話の実施を控え、事前指導、事後指導を丁寧に行い、生徒が自分のこととして考えられるものにしていく

大阪市立淀川中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の維持増進】</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない (あまり食べていない)」と答える生徒の割合を10%以下にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○本校アンケート調査で、「生命尊重や男女平等の意識について性教育を学んでいます。こうした学習はこれからのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ (少しは役立つ)」と回答する生徒の評価を85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における合計得点を全学年で向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【食育・健康な生活習慣の確立】</p> <p>保健だよりや食育通信等により啓発活動を推進し、健康な生活習慣を確立する。 (ガバナンス改革関連)</p> <p>指標 全国学習状況調査の割合を改善する。</p>	B
<p>取組内容②【健康に関する今日的課題への対応】</p> <p>生命尊重、男女平等を基本とした性教育の取り組みや講演会等の実施。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 全国学習状況調査の関連項目での割合を前年度以上にする。</p>	B
<p>取組内容③【体育活動の充実】</p> <p>土曜授業においてトップアスリートを招いての講話や体験活動等を行い、運動に親しみ運動に対する意識を高める。体育授業のさらなる充実。 (ガバナンス改革関連、カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 生徒アンケート等の結果。「全国体力・運動能力・運動習慣調査」で前年度以上の結果をめざす。</p>	C
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> <p>・「朝食を毎日食べているか」の項目では「食べていない」が3.2%、「あまり食べていない」が8.7%となり10%を切ることができなかった。</p> <p>・トップアスリートを招こうと取り組んだが、抽選が外れてかなわなかった。</p>	

次年度への改善点

- ・朝食の大切さを、あらゆる機会を通して生徒たちに訴えていく。